

自作教具の活用事例

【作品名】 見つけよう！偶数・奇数	【学校名】 日立市立助川小学校																																																		
【活用できる領域・教科等】 認知の学習（前後・左右などの空間認知）	【制作者名】 須藤 恵美子																																																		
【制作の意図】 奇数・偶数の意味や仕組みは、言葉だけで説明しても理解が難しい。それを数と結びつけて考えることも困難なので、数字遊びをしながら、身に付けられないかと考え制作した。	【使用の方法】 ・数字の上に、赤（奇数）青（偶数）の一方、あるいは両方をはりながら奇数と偶数を確認していく。 ・言われた数が奇数か偶数かを答えながら、数字だけのボードに貼っていく。																																																		
【制作上の工夫】 ・奇数と偶数で色を変えた。 ・マグネットで取り外しできるようにした。	【見取り図】 横 30cm×縦 20cm のホワイトボードに 1～50 まで 50 個の数字のコマを並べた。 コマの大きさは 3 cm× 4 cm <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																		
【写真】	【使用効果と応用発展】 ・奇数と偶数は交互に並んでいることが視覚を通してわかってきた。 ・表されている数なら、赤か青かを覚えることで偶数か奇数かを答えることができた。 ・さらにわり算を（÷）することで、「2」で割って、割りきれるのが偶数、1あまるのが奇数とわかるように発展させたい。																																																		
【材料・材質・部品等】 A 4 用紙 ラミネート マグネット ホワイトボード																																																			